

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	一般用医薬品販売制度実態把握調査事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	総務課		課長 宮本 真司		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-8 医薬品等の品質確保、安全対策を徹底する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	薬事法の一部を改正する法律案に対する附帯決議 (平成18年4月18日 参・厚生労働委員会)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	改正薬事法の趣旨を踏まえ、新たな一般用医薬品販売制度の実効性を確保するため、国民の立場から改正法の遵守状況を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するため、一般消費者としての調査員を選定し、全国の薬局、店舗販売業者等を訪問の上、その店頭等において覆面で調査を実施した。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	26	18	23	20	20	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	26	18	23	20	20	
		執行額	17	22	15			
	執行率(%)	65%	122%	65%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握することを目的とする事業であるため、定量的な指標を設定することはできない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	全国で一定規模を目処に、①薬局及び店舗販売業者等店舗の訪問調査、②薬局等が開設するインターネットサイトの調査、③配置による医薬品販売の調査を実施することを活動指標とする。		活動実績 (当初見込み)		47都道府県 4,017店舗等 (4,000店舗等)	47都道府県 7,081店舗等 (6,750店舗等)	47都道府県 6,417店舗等 (6,750店舗等)	- (6,750店舗等)
			算出根拠		○平成23年度 執行額÷活動実績=15百万円÷6,417≒2,338(円/店舗等)			
単位当たりコスト	約2,338(円/店舗等)							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	医薬品審査等業務庁費	20	20					
	計	20	20					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	改正薬事法の定着状況を把握し、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする事業であり、優先度の高い事業とといえる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	薬事法改正による新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するものであり、国の実施すべき事業だといえる。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	不用額については、入札差額が大きな要因となっている。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は、総合評価落札方式により選定されており、選定は妥当といえる。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	改正薬事法の定着状況を適正に把握できるよう客対数の増加に努めている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業目的を達成するための活動実績数となっており、実効性の高い手段となっている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	成果物は、HPなどで公表し、各方面において活用いただいている。
点検結果	事業点検を踏まえ、平成24年度以降も継続的に改正薬事法の定着状況の把握に努めるとともに、調査対象や手法などより効果的・効率的な調査手法を検討する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、医薬品販売の適正化を図るため、一般用医薬品販売制度の定着状況把握に必要な経費であり、引き続き適切な予算措置に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	平成23年度の執行率が低い要因として、入札差額があげられる。平成24年度予算では、適正な執行を行うために予算積算を見直すとともに、調査内容についても新たに調査事項を追加することにより、より効果的な事業としている。平成25年度概算要求においても、見直しを踏まえた平成24年度と同額の要求としていく。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0205	平成23年行政事業レビュー	0182

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
15百万円
新たな一般用医薬品販売制度の導入に伴う定着状況の調査

【総合評価落札方式】

A. ソフトブレーン・フィールド(株)
15百万円
【一般用医薬品販売制度定着状況調査の請負】

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.. ソフトブレン・フィールド(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	一般用医薬品販売制度定着状況調査 一式	15			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A. ソフトブレイン・フィールド(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソフトブレイン・フィールド (株)	一般用医薬品販売制度定着状況調査	15	1	67%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					